

振り返ってみましょう

# 子どもの学習への意欲を高めるために

次のような環境を家族とともにつくりましょう。

## 【基本的な生活習慣】

- 毎日、朝食を食べる。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝る、起きる。
- 家庭学習の時間を決めている。
- 自分で計画を立てて勉強する。
- 宿題、予習・復習をする。
- 読書をする。



## 【自尊意識・規範意識】

- ものごとを最後までやり遂げ、うれしかった経験がある。
- 学校のきまり・規則を守っている。
- 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている。



## 【家庭でのコミュニケーション】

- 家族と学校での出来事について話をする。
- スマートフォンやインターネットに触れる時間を決めている。
- ゲームをする時間を決めている。



## 【地域や社会に対する興味・関心】

- 地域や社会の出来事に興味がある。
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。
- 新聞を読んでいる。ニュース番組を見ている。



# 北海道の子どもたちの健やかな成長を願って

子どもの成長に合わせ、家族とのふれあいを通して、家庭での学習習慣を身に付けさせましょう。

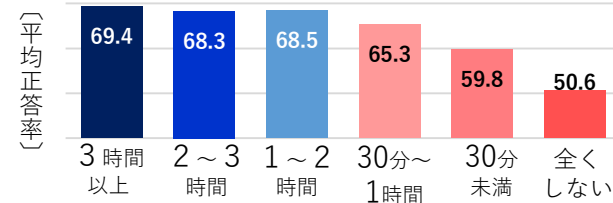
自分で計画したことをよく頑張ったね！



### 家庭での学習時間と教科の平均正答率

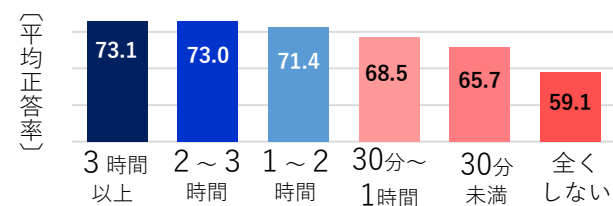
令和5年度 全国学力・学習状況調査

(小学校国語)



〔普段1日の家庭での学習時間〕

(中学校国語)



〔普段1日の家庭での学習時間〕

家庭での学習時間が長いほど、平均正答率が高い傾向が見られます。



家族と決めた約束をきちんと守ったね！

## 家庭でのポイント

### ① ほめる

がんばってできたこと、挑戦しようとしたことを認めて、ほめ、子どものやる気を育てましょう。

### ② 見守る

子どもが家庭学習の計画を立て、取り組む姿を見守り、応援して、子どもの自主性を育てましょう。

### 家庭での学習時間の目安

小・中学生「学年×10分+10分」  
高校生「進路希望に応じた時間」

### ③ 決める

スマートフォンやゲームをする時間の約束を家族と一緒に決め、一日の時間を大切にする意識を育てましょう。

子どもの成長に応じたかわり方については、中ページをご覧ください。

# 家庭での学習習慣の確立に向けて ～ 子どもの成長に応じたかかわり方 ～

## 幼児期

基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。

起きる・寝る・食事をするなど、正しいリズムで生活させましょう。

幼児教育施設での活動と家庭での生活をつなぎましょう。

幼稚園等で遊んだことを「今日はどんなことがあったの?」「○○は楽しかった?」と聞くなど、家庭での会話を充実させましょう。

家庭でも、体を動かしたり、工夫して物をつくったりする遊びを楽しめるようにしましょう。

また、外遊びや様々な体験の機会も大切にしましょう。



## 小学校 1・2年生

基本的な学習習慣を身に付けさせましょう。

「早寝、早起き、朝ごはん」で生活リズムを整えさせましょう。

家庭学習と一緒に取り組み、「やったね!」「よくできたね!」など、温かい言葉で子どもの取組をほめ、やる気を高めましょう。

子どもが興味をもつ本を置いたり、読み聞かせたりするなど、子どもが自ら学ぶことができるような環境をつくりましょう。



## 小学校 3・4年生

進んで学習する習慣を身に付けさせましょう。

家庭学習やゲームの時間を、家族で話し合っ決めて、自分で守るようにさせましょう。

自分でできることは自分でさせ、「がんばったね!」「一人でできてすごいね!」など、ほめながら、子どもを温かく励ましましょう。



興味があることに挑戦し最後まで取り組む体験をさせ、子どもが感動や喜び、自信を得られるようにしましょう。

## 小学校 5・6年生

自分で計画を立て、進んで学習する習慣を身に付けさせましょう。

子どもが起床・就寝時刻や家庭学習、ゲームの時間などを見直し、自分で基本的な生活習慣を守るようにさせましょう。

子どもが家庭学習の計画を立てて取り組むよう見守り、「目標を決めて、よくがんばったね!」とほめるなどして、子どもの取組を励ましましょう。



学校での出来事、将来の夢などについて家族で話し合い、目標をもつことの大切さを一緒に考えましょう。

## 中学校 1・2年生

計画的・継続的に学習できるよう支援しましょう。

子どもが休日の過ごし方や、曜日ごとの家庭学習の時間を決めるなど、中学生としての生活リズムを確立させましょう。

子どもが家庭学習と部活動などの両立に向けて継続して取り組んでいる姿を見守り、応援しましょう。



学ぶことや働くことの尊さについて一緒に考え、子どもの自主性を見守りましょう。

## 中学校 3年生

進路実現に向けて目標を明確にして取り組むよう励まし、応援しましょう。

睡眠時間を確保すること、朝食をしっかり食べることなどの大切さを一緒に考え、生活リズムを自ら整えることができるようにさせましょう。

子どもの考えや様々な疑問に真剣に向き合い、子どもが目標に向かって挑戦する姿を見守り、応援しましょう。



進路の具体的な目標を決め、目標の実現に向け、今、何をやる必要があるのかを一緒に考え、応援しましょう。



## 高等学校 1～3年生

自分で進路実現に向けた計画を立て実行できるよう応援しましょう。

睡眠時間の確保や栄養のバランスを考えた食事、家庭学習の時間など、望ましい生活習慣を自ら確立することができるようにしましょう。

自らの進路実現をイメージしながら家庭学習に取り組めるよう応援しましょう。

進路希望の実現のために必要な知識や資格等について、自分で調べたり、先生や友人と話し合ったりする姿を応援しましょう。



家庭学習で活用できる学習教材をWebページに掲載しています。

- ほっかいどう「チャレンジテスト」  
小1から中3までの問題があり、自分で丸付けができるように解答例もついています。



チャレンジテスト 検索